

KAWAI

もっと伝えたい、感動を。

第87期 報告書

2013年4月1日～2014年3月31日



写真/カワイ表参道



株主の皆様には、平素、格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。
第87期報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当年度におけるわが国経済は、現政権の経済・金融政策への期待感から株価が上昇し、消費税増税前の駆け込み需要の影響による個人消費の改善もあり、景気回復の動きが見られました。世界経済は、米国では緩やかな回復基調にあるものの、欧州の景気は低迷が続き、中国などアジア経済の成長が鈍化するなど先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループは「第4次中期経営計画」初年度の計画遂行に取り組んでまいりました。

第87期の期末配当金につきましては、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、1株につき4円50銭とさせていただきます。

今後の経済情勢につきましては、国内外において予断を許さない状況が続くものと思われませんが、当社グループは「第4次中期経営計画」における成長戦略と構造改革の諸施策を着実に遂行してまいります。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年6月

取締役社長

河合弘隆

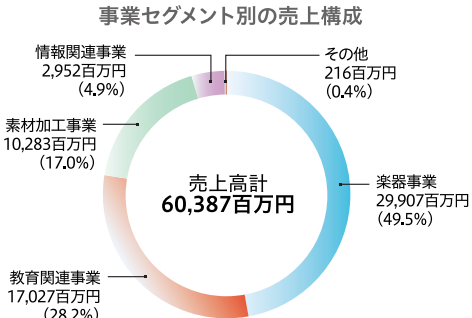
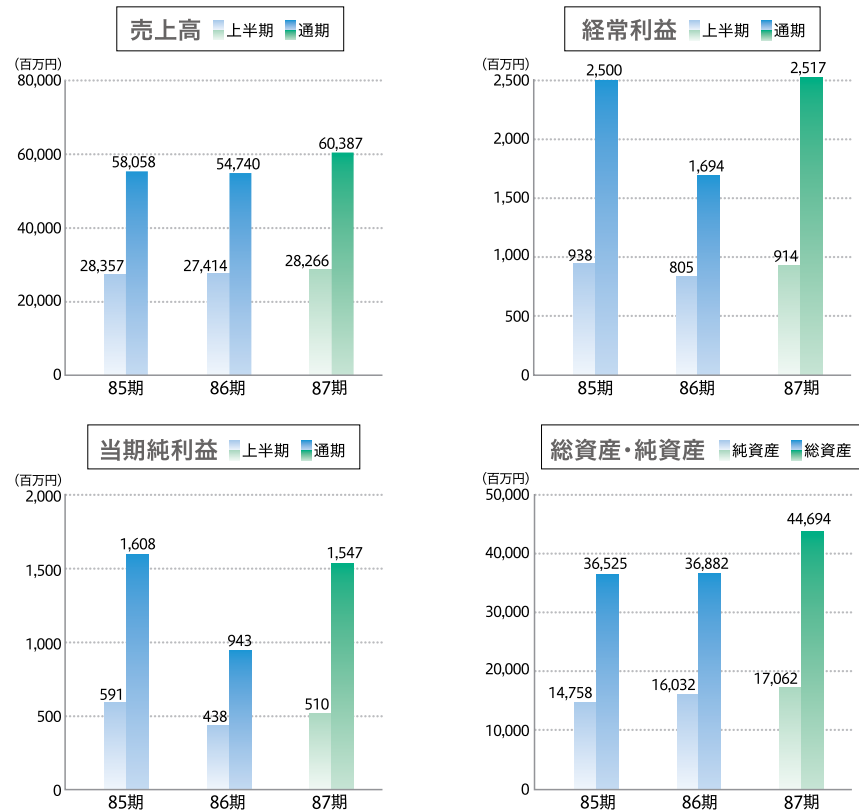
当年度は、アップライトピアノの『Kシリーズ』を8年ぶりにモデルチェンジするなど商品力を高めるとともに、最高級グランドピアノ『Shigeru Kawai』を軸とした高付加価値商品のプロモーション活動の強化、主要ショップの整備や国内外での音楽教室の積極展開などを推進し、ブランド力の向上と販売拡大に努めました。素材加工事業におきましても、自動車関連部品を中心に受注量の拡大と生産効率の向上に努めました。一方、当社グループのさらなる事業拡大と企業価値の向上を目指して、株式会社全音楽譜出版社の全株式を取得し子会社化いたしました。

この結果、楽器販売が順調に推移したことに加え、為替による押し上げや自動車関連部品の売上増加などにより、売上高は60,387百万円(前年度比5,647百万円10.3%増)となりました。このうち国内売上高は41,071百万円(前年度比2,173百万円5.6%増)、海外売上高は19,316百万円(前年度比3,474百万円21.9%増)となりました。

損益面では、営業利益は売上高の増加により1,911百万円(前年度比740百万円増益)となり、経常利益は為替差益の発生もあり2,517百万円(前年度比823百万円増益)となりました。また、当期純利益は1,547百万円(前年度比604百万円増益)となりました。

総資産は44,694百万円(前年度比7,812百万円増)、有利子負債は5,423百万円(前年度比2,246百万円増)となりました。

業績ハイライト



楽 器 事 業

国内では『Shigeru Kawai』を軸としたブランドイメージの向上に注力し、アップライトピアノの新モデル投入効果や消費税増税前の駆け込み需要の影響もあり、ピアノ・電子ピアノともに増加しました。

海外では、北米においてピアノ販売が堅調に推移し、欧州では電子ピアノ販売が伸長しました。中国でのピアノ販売は、年度途中まで経済成長鈍化の影響を受けましたが、挽回し前年比増加となりました。

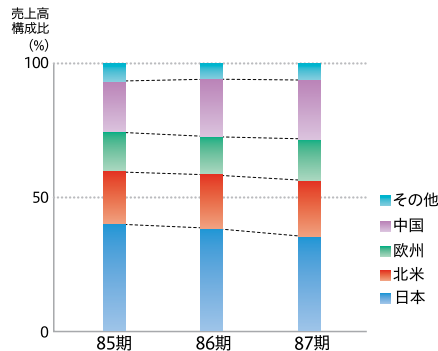
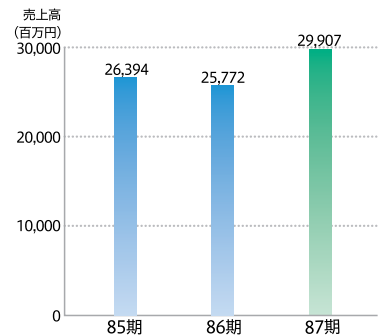
売上高は29,907百万円(前年度比4,135百万円増)となり、営業利益は国内での高付加価値商品の販売増加や国内外での電子ピアノの売上増加により244百万円(前年度比544百万円増益)となりました。



グランドピアノ SK-5

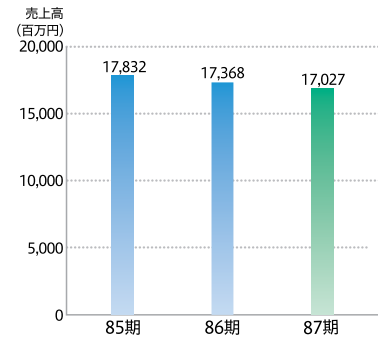


アップライトピアノ K-300



教育関連事業

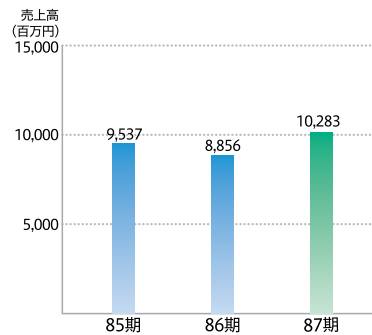
人口増加エリアを中心に音楽教室を開設し、新規生徒募集に積極的に取り組んだことにより新入生徒数は増加したものの、既存教室の生徒数減少をカバーするには至らず、売上高は17,027百万円(前年度比341百万円減)となり、営業利益は1,205百万円(前年度比138百万円減益)となりました。



グループレッソンの様子

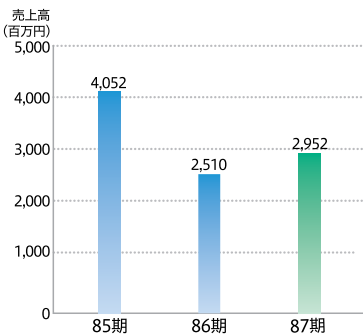
素材加工事業

CVT関連部品の受注が増加し、また消費税増税前の駆け込み需要の影響もあり防音室の販売が堅調に推移しました。売上高は10,283百万円(前年度比1,427百万円増)となり、営業利益は637百万円(前年度比172百万円増益)となりました。



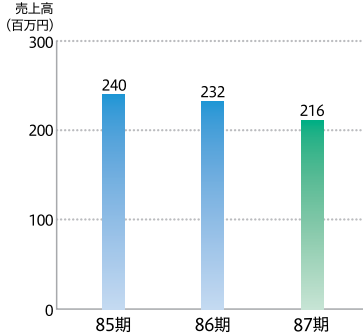
情報関連事業

IT機器の販売増加により、売上高は2,952百万円(前年度比442百万円増)となり、営業損失は5百万円(前年度比8百万円改善)となりました。



その他

その他の事業の売上高は216百万円(前年度比16百万円減)となり、営業損失は22百万円(前年度比10百万円改善)となりました。





主力製品であるアップライトピアノを 8年ぶりにモデルチェンジ

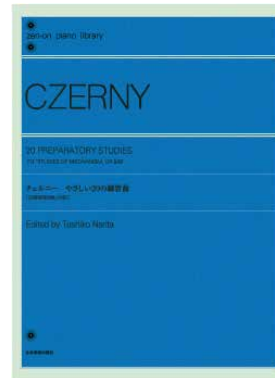
主力製品であるアップライトピアノを8年ぶりにモデルチェンジし、新たなKシリーズとして、計7機種をラインナップし2月16日より発売いたしました。

新シリーズでは、コントロール性を高めた長尺鍵盤や、これまで以上に豊かな響きを実現した新設計響板、それらを支える高剛性ボディ等、Shigeru KawaiやGXシリーズなどのグランドピアノで培ってきた設計思想を盛り込み開発しました。

おかげさまで、お客様からも高い評価をいただき、好調な販売実績を維持しています。

アップライトピアノ K-400

株式会社全音楽譜出版社の全発行済株式を取得し子会社化



クラシック音楽を中心に楽譜出版業界で高いブランド力と豊富なコンテンツを持つとともに、楽器事業においては全国の楽器店販売網を持っている株式会社全音楽譜出版社（以下全音）の発行済株式の全部を取得し、子会社化いたしました。

直営販売に強みを持つ当社に対して、全音がカバーする全国の楽器店網を相互に活用するとともに、保有するコンテンツと、当社の事業資源との相乗効果により、さらなる事業拡大と企業価値の増大を図ってまいります。

復活したロシア・ピアノズムの巨匠ミハイル・プレトニョフ氏のパートナーにShigeru Kawaiグランドピアノ



1978年のチャイコフスキー国際コンクールで優勝し、ピアニストとして国際的に活躍していたミハイル・プレトニョフ氏が、突然、演奏活動を一切やめて指揮者に専念すると宣言したのは2006年のこと。

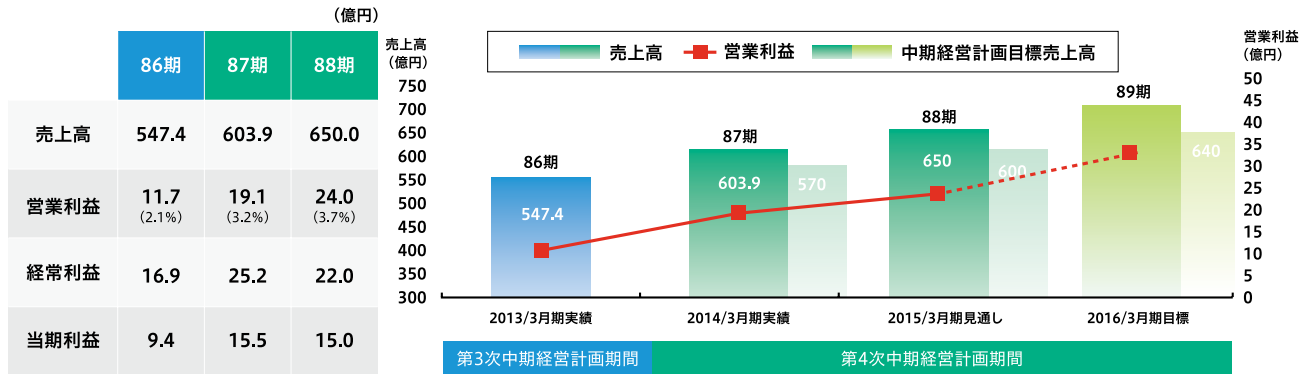
そのプレトニョフ氏が、およそ8年ぶりにピアニストとしての演奏活動を再開するようになったきっかけは、Shigeru Kawaiグランドピアノとの出逢いでした。

Shigeru Kawaiの音色をたいへんに気に入ったプレトニョフ氏は、今年行った自身のアジアツアーにおいてもShigeru Kawaiのコンサート用モデルSK-EXを使用されています。



第4次中期経営計画の進捗

2013年4月よりスタートさせた第4次中期経営計画について、初年度となる第87期は当初計画を上回る実績をあげることができました。引き続き、さらなる成長戦略を描くとともに持続的成長のための構造改革の諸施策を遂行してまいります。



MIDIキーボード「VPC1」が Rock oN AWARD 2014でSilver賞を受賞



株式会社メディア・インテグレーションRock oN Companyが主催する、ユーザー投票およびスタッフ推薦により選ばれた賞であるRock oN AWARDの2014で、MIDIキーボード「VPC1」がSilver賞を受賞し、本年1月にアメリカで開催された「NAMM Show 2014」において授賞式が行われました。

受賞のポイントは「グランドピアノの感触を再現するために搭載された多くの技術のクオリティの高さが、世界に誇るピアノブランドの実力を証明している」というもの。当社の技術力を、高く評価いただいた結果です。

新しい音楽文化発信の拠点として 『カワイ札幌』を移転リニューアルオープン



1971年のオープンから42年間、多くのお客様に親しまれてきたカワイ札幌ショップを、さらに魅力ある店舗とすべく、本年4月に名称も新たに『カワイ札幌』として移転リニューアルしました。

生まれ変わった『カワイ札幌』は、JR札幌駅から徒歩5分という好立地と、新たに併設された約80席のコンサートサロン“Chou Chou (シュシュ)”を活用し、北海道の音楽文化発信の拠点として魅力溢れるサービスを提供してまいります。

インドネシアにおける植林活動

■第2期「カワイの森」第1次植林をスタート

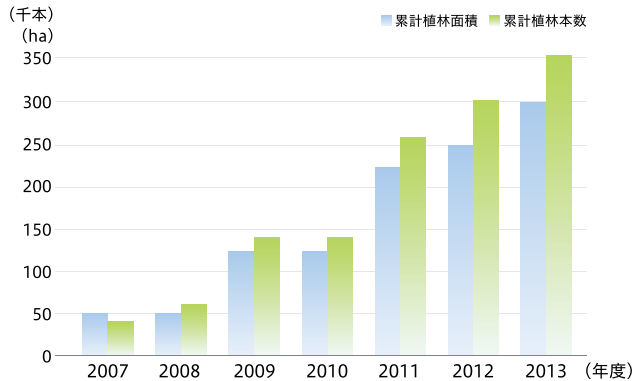
カワイグループ従業員有志による「カワイの森育成会」は、2007年に創立80周年記念事業の一環として開始。主にはインドネシアにおける「カワイの森」植林活動を毎年継続して実施し、本年で8年目を迎えます。

開始から2012年度までの第1期では、当初計画を上まわる250haの土地に30万本の植林を実施しました。

2013年度からの第2期においては、5年計画で250haの土地に25万本の植林を計画しており、子会社のPT.カワイインドネシアおよびインドネシア森林公社と共同で実施してまいります。本年1月には現地関係者による第2期植林の開始セレモニーを行い、第2期の第1次植林として50ha、5万本の植林を開始いたしました。



第2期第1次植林開始セレモニー(2014年1月)



東日本大震災被災地への継続的支援



写真左から菅原望さん、草冬香さん、渡辺健二さん

当社は、東日本大震災直後の2011年4月から6月にかけて、東京のカワイ表参道において「東日本大震災被災地支援チャリティコンサート」を開催し、趣旨にご賛同いただいた総勢27名の第一線で活躍するピアニストの皆さまに回替わりでご出演いただきました。全9回のコンサートでは、のべ1,200名近くのお客様にご来場いただき、825,624円に及ぶ募金をお預かりいたしました。

一方、被災地からは今でも“震災はまだ終わっていない、何も解決してはいない”という声が聞こえてきます。復興はまだまだこれからであるという現実を受け、震災から3年が経った2014年3月11日、当時と同じカワイ表参道において、一日も早い復興を願い通算10回目となるチャリティコンサートを開催いたしました。

コンサート終了後には、出演者が自ら募金箱を手に募金を呼びかけ、多くの皆さまからの温かなご支援をいただきました。お預かりしたお金は、被災地植樹支援としてカワイの森育成会を通じ、海岸防災林等の森林整備に用途を限定した東日本大震災復興事業に寄付する計画です。

■連結貸借対照表(要旨)

(百万円)

科 目	87期 '14.3.31現在	86期 '13.3.31現在
(資産の部)		
流動資産	25,387	19,511
固定資産	19,306	17,370
有形固定資産	14,938	14,047
無形固定資産	1,285	570
投資その他の資産	3,082	2,752
資産合計	44,694	36,882
(負債の部)		
流動負債	14,188	10,585
固定負債	13,443	10,264
負債合計	27,632	20,849
(純資産の部)		
株主資本	18,083	16,874
資本金	6,609	6,609
資本剰余金	744	744
利益剰余金	10,888	9,679
自己株式	△159	△159
その他の包括利益累計額	△1,058	△888
少数株主持分	37	46
純資産合計	17,062	16,032
負債及び純資産合計	44,694	36,882

■連結株主資本等変動計算書(2013年4月1日～2014年3月31日)

(百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額					少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他 包括利益 累計額合計		
2013年4月1日残高	6,609	744	9,679	△159	16,874	244	△1,132	—	△888	46	16,032
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△338		△338						△338
当期純利益			1,547		1,547						1,547
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						7	1,490	△1,667	△169	△9	△178
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,208	△0	1,208	7	1,490	△1,667	△169	△9	1,029
2014年3月31日残高	6,609	744	10,888	△159	18,083	251	358	△1,667	△1,058	37	17,062

■連結損益計算書(要旨)

(百万円)

科 目	87期 '13.4.1～'14.3.31	86期 '12.4.1～'13.3.31
売上高	60,387	54,740
売上原価	45,686	41,224
売上総利益	14,701	13,516
販売費及び一般管理費	12,789	12,344
営業利益	1,911	1,171
営業外収益	877	825
営業外費用	271	302
経常利益	2,517	1,694
特別利益	66	8
特別損失	286	18
税金等調整前当期純利益	2,297	1,683
法人税等	769	743
少数株主損益調整前当期純利益	1,528	940
少数株主損失(△)	△19	△3
当期純利益	1,547	943

■連結キャッシュフロー計算書(要旨)

(百万円)

科 目	87期 '13.4.1～'14.3.31	86期 '12.4.1～'13.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,551	1,218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,416	△1,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,653	△1,578
現金及び現金同等物に係る換算差額	333	138
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,121	△1,840
現金及び現金同等物の期首残高	5,224	7,064
現金及び現金同等物の期末残高	8,346	5,224

●会社の概要

商 号	株式会社河合楽器製作所 [英文表記] KAWAI MUSICAL INSTRUMENTS MANUFACTURING CO.,LTD.
創 立	1927(昭和2)年8月9日
設 立	1951(昭和26)年5月15日
資 本 金	6,609百万円
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部
主 な 事 業	楽器の製造、仕入並びに販売 音楽教室・体育教室の運営 金属加工品及び木工加工品の製造、仕入 並びに販売
従 業 員 数	連結 2,917名／単体 1,414名

●事業所

本 社	〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地
工 場	[国内] 竜洋工場(静岡県磐田市)など [海外] インドネシア、中国
営 業 拠 点	[国内] 関東支社(東京都渋谷区) 中部支社(名古屋市中区) 関西支社(大阪市中央区) [海外] アメリカ、ドイツ、中国など

●役員

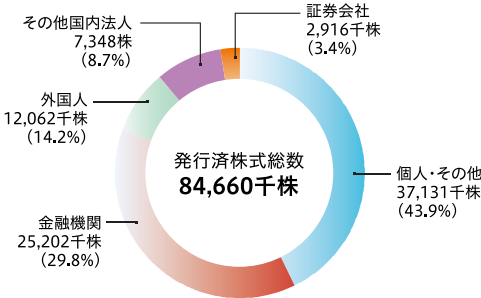
代表取締役社長	河合 弘 隆	執行役員	富山 千 広
取締役(副社長執行役員)	佐野 良 夫	執行役員	伊藤 照 幸
取締役(専務執行役員)	村上 二 郎	執行役員	江 部 博
取締役(常務執行役員)	金子 和 裕	執行役員	玉 村 邦 明
取締役(相談役)	小倉 克 夫	執行役員	大神 正 清
取締役(上席執行役員)	稲垣 誠	執行役員	合田 光 範
取締役(上席執行役員)	日下 昌 和	執行役員	牛 尾 浩
取締役(上席執行役員)	西尾 正由紀	執行役員	河合 健太郎
社外取締役	片桐 一 成	執行役員	森 直 樹
常勤監査役	河崎 哲 男	執行役員	箕 輪 匡 文
常勤監査役	鈴木 秀 一		
社外監査役	都 築 知 也		
社外監査役	田 畑 隆 久		

●株式の状況

1 発行可能株式総数	342,000千株
2 発行済株式の総数	84,660千株 (自己株式950,184株を除く)
3 株主数	8,371名
4 主要株主	

株 主 名	株式数(千株)
株式会社河合社団	4,778
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,705
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,909
東京海上日動火災保険株式会社	2,750
カワイ従業員持株会	2,740
明治安田生命保険相互会社	2,700
河合楽器取引先持株会	2,331
共栄火災海上保険株式会社	2,250
株式会社静岡銀行	2,040
日本生命保険相互会社	1,592

5 株主構成



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告の方法により行います。 但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞に掲載します。 電子公告掲載アドレス http://www.kawai.co.jp/ir 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないために特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払い配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 河合楽器製作所

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地
Tel:053-457-1213 FAX:053-457-1300
URL:<http://www.kawai.co.jp>